

かごしま Online-Campus

背景

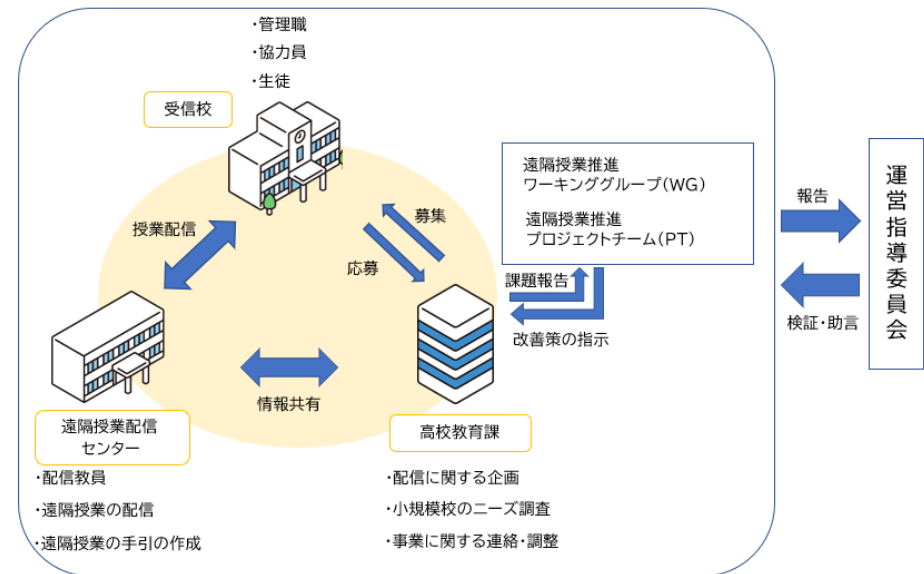
本県においては、離島を中心に小規模高等学校における教員数が少ないことから、大学進学等の進路希望に対応した教科・科目の開設が困難な状況があるため、遠隔授業等により幅広い科目を開設し、生徒たちの学習の幅を広げることが必要となっている。そのため、小規模高等学校において遠隔授業や通信教育が可能となる環境を整えることで、子どもたちの学習の幅を広げ、学習意欲のある生徒が地元で学びを継続できるように、本事業を活用する。

目的

離島等の小規模高等学校に在籍する生徒の多様な学習ニーズを満たす、質の高い遠隔授業及び通信教育を実施し、また「かごしま Online-Campus」の円滑な運営体制を確立することにより、生徒の社会の変化を乗り越え、未来の社会の創り手となる資質・能力を育成する。

1. 実施体制

高校教育課	高校教育課長, 担当指導主事
プロジェクトチーム	教育次長, 総務福利課長, 高校教育課長, 教職員課長, 総合教育センター所長, 高校教育課指導監, 総務福利課企画監
ワーキンググループ	総務福利課秘書人事係長, 経理係長, 教職員課県立学校人事管理係長, 高校教育課高校教育係長, 高校教育課企画助成係長, 総務福利課教育DX推進室, 高校教育課担当指導主事
構成校 (◎は受信校)	種子島中央高校, 屋久島高校, ◎大島北高校, ◎古仁屋高校, ◎喜界高校, 徳之島高校, ◎沖永良部高校, ◎与論高校
遠隔授業配信センター	教頭・教諭(遠隔授業担当) 配信教科・科目: 公民, 数学, 理科(物理, 地学), 外国語, 情報



2. 取組状況

- | | | | |
|-----------------|---------------------|--------------------|----------------|
| (1) 配信センターの設置 | (2) 単位認定が可能な遠隔授業の実施 | (3) 通信教育の実施 | (4) 運営指導委員会の実施 |
| ① 県総合教育センター内に設置 | ① 受信校5校、延べ213人に配信 | ① 主体的学習の促進を目的として実施 | ① 年2回実施(7月、1月) |
| ② 配信者の所属は鶴丸高校 | ② 5教科6科目の授業配信 | ② 進捗状況の客観的な可視化 | ② 運営指導委員による研修 |
| ③ 開所式を実施 | ③ 公開授業の実施 | | |
| | ④ 配信者及び協力員への研修を実施 | | |

3. 今年度の成果と今後の課題

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| (1) 今年度の成果 | (2) 今後の課題 |
| ① 単位認定が可能な遠隔授業の実施 | ① 本事業の目的に合致する配信計画の推進 |
| ② 遠隔授業「受信校の手引」の更新 | ② より充実した配信の実施 |
| ③ 円滑な授業配信及び通信教育に向けた工夫 | |
| ④ 遠隔授業推進フォーラム及び巡回型協力員の実施 | |

【受信側の様子】



【配信側の様子】



かごしま Online - Campus

1. 遠隔授業実施の様子

【遠隔授業の様子】



【大島北】



【与論】



【喜界】



【沖永良部】



【古仁屋】



【交流授業(情報)】

島根県

【対面授業時の実験・面談の様子】



実験



面談



面談



打合せ

【動画教材を活用(政治・経済)】



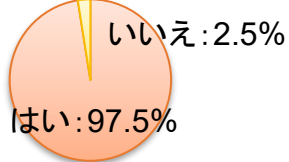
【AIを授業で活用(数学)】



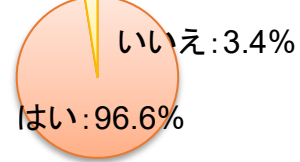
2. 教職員、生徒の感想

R7授業アンケート結果
延べ8,783人中

充実した学習活動だったか



学習目標を達成したか



(1) 良かったこと

【学校経営上】

- ・従来開設されていない科目「情報Ⅱ」及び「地学基礎」の履修を遠隔授業で開始し理数系科目の充実を図ることができた。
- ・専門性の高い教員が授業を担当し、離島の豊かな地質的特徴を活かした授業を通じて、他校や大学等と連携を深めることができた。

【教職員(配信者)】

- ・動画教材やAIの活用を通して、授業に効果的に取り組めた。

【教職員(協力員)】

- ・対面授業時の面談など、生徒の進路実現に向けて丁寧に支援してもらうことができた。

【生徒】

- ・遠隔授業は、わかりやすい説明で、友達とも協力し合いながらできた。
- ・対面と変わらず全く不便なところもないし、むしろチャットやリアクションなどでお互いに勉強をしている感じがあってよかった。

(2) 次年度へ改善点と提案

【教職員(配信者)】

- ・新しい授業デザインと研修が必要。
- ・対面授業と比べて、コミュニケーションの取り方が難しかった

【教職員(協力員)】

- ・配信教員に、生徒の反応をもっと伝える必要がある。
- ・初任者等の学びの場として提供してはどうか。

【生徒】

- ・遠隔授業でも遠慮せずしっかりと意見を言う。
- ・画面越しでも理解できるようにする。

かごしま Online—Campus

1. 通信教育実施の様子

・生徒が「粘り強く自己調整しながら学ぶ」ための 主体的な学びのデザイン の構築

【各教科の取組】

主体的に課題を達成するための取組

- ・やる気を出すための事前説明(R6、R7)
- ・途中での教員の声かけ(R6、R7)
- ・生徒相互の励まし合い(R7)

	情報	数学	英語
人数	16人	18人	5人
期間	7～8月	7～8月	1～3月
回数	8回	45回	8回
事前説明	○	○	○
教師の声かけ	△	○	○
励まし合い	×	○	○
達成人数	4人 (25%)	5人 (28%)	5人(100%)

3月3日現在

【R7の取組】

【事前説明】



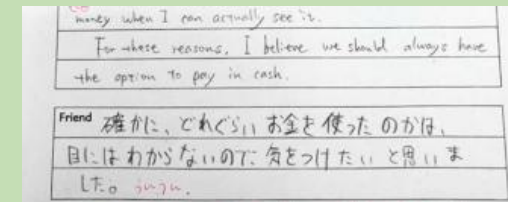
英語



【励まし合い】

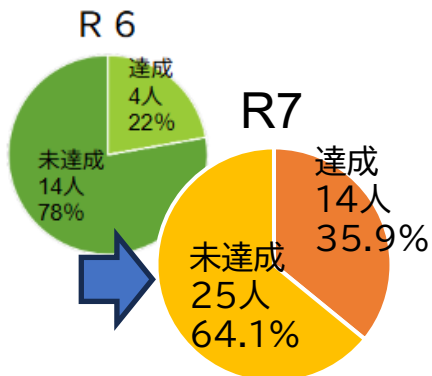
	イイね	ログイン	番号	1章1						
				22	26	28	29	34	36	
👍	1	20	例	7/31	7/31	8/1	8/1	8/2		
👍	2	50	2105	8/1	8/1	8/1	8/1	8/2	8/2	
👍	1	40	2109							
👍	5	0	10	2111	8/1	8/1	8/1	8/1	8/2	8/2

ログインボーナスといいねボタン(数学)



友人のコメント(英語)

2. 教職員、生徒の感想



(1) 良かったこと

【教職員(配信者)】

- ① 事前説明を行うことで、動機づけにつながった。
- ② グループ活動を取り入れるお互いの進捗状況を共有した。
- ③ 「いいねボタン」や「ログインボーナス」等の仕掛けを導入した。

【生徒】

- ① 計画的に進めることができた。
- ② コツコツ積み重ねが大切だと感じた。
- ③ 分からないところが分かるようになった。
- ④ 模試で良い結果が出た。
- ⑤ 習慣をつけることが大切だと思った。

(2) 改善点・反省

【教職員(配信者)】

- ① 進捗状況の共有を、計画の見直し等に生かすことができなかった。
- ② ゲーミフィケーションの仕掛けを、動機づけにつなげることができなかった。

【生徒】

- ① 計画的に学習を続けられない。
- ② 行事等でスプレッドシートをあまり見ることができなかった。